

○6番（菊池勝美議員） 6番菊池勝美でございます。ただいま議長のお許しをいただきましたので、通告順に従いまして一般質問をいたします。

私は常に地域の声を大切にということをモットーに議員活動をしております。そのような中、地域の多くの方からご意見をいただきました。今回、その中で特に地域住民の生活に関わる2点についてお伺いをいたします。

1項目目は、安心して安全に生活できる環境整備の中の幹線道路の整備についてであります。

その中の主要地方道常陸那珂港山方線の1か所目、中利員地内のガソリンスタンドより南へ約2キロメートルの区間について、今後の計画についてお伺いをいたします。

この約2キロメートルの区間については、全区間とも狭隘であり、屈曲も多く、通勤通学には大変苦勞をしており、特に中利員町地内では、以前に交通死亡事故も発生している状況であります。

この全ての区間においては、普通車はもちろん軽自動車同士でも交換が容易でない区間であり、主要地方道でこの地域唯一の生活道路であるにもかかわらず、このように約2キロメートルに及ぶ区間が半世紀以上にわたって取り残され、未整備の状況であります。道路が狭い上に全区間とも歩道がないため、毎日の通行が大変危険を伴っております。実際には、自転車の中学生が車に気をとられ、転んでけがをしたという話も聞いております。

生活の基盤となるものは何といたってもインフラ整備ではないでしょうか。少子高齢化による人口減少対策、農林業、水産、商工業の振興、これはもちろん大変重要ではありますが、子どもから高齢者まで、朝から晩まで利用し、かつ必要としているのは、生活道路の確保であると思えます。

また、少子化により、小中学校が統廃合され、施設の集約化が図られ、集団で生活することは子どもたちにとっては大変望ましいことだと思っております。

しかし、その学校に通うまでの交通手段は様々であります。今までの地域にある学校までならば徒歩での通学もありましたが、統廃合により遠くなったのでバスとタクシー併用でないと通えないところもあります。最近までこの方法もあったと見ております。

また、中学校は自転車通学があり様々であります。私のところからは、金砂郷小学校まで片道16キロありますけれども、将来的にはバス、タクシーの併用があるとすれば、それになるのかなというふうに考えております。

さて、金砂郷地区の北部におきましては未婚者が増えております。特に金砂地区においては人口減少が顕著であり、他市町村に転出する世帯も増加傾向にあります。これも道路の整備状況が悪く通勤が困難であり、転出せざるを得ない。そうなると残るは高齢者ということになります。

今回の選挙期間も含めて、最近であります。私のところに届いた声を幾つか紹介をしたいと思えます。

これはあくまでも、冒頭申し上げております2キロメートルの区間のことであります。

60代の金砂地区の女性であります。市内への買物、支所などへの用事があるときには、ガソリンスタンドの前まで行くと必ず対向車が来ないようにとお祈りをするという話です。これ本

当なんです。

それから、70代の金郷地区の男性ですけれども、国道293号近くの新地町の女性と結婚したときにこの道路のことを聞かれて、そのうち改良されるみたいだよという話をしたところ、約40年間は全くそのままであると。

それから、80代の中利員町の金砂地区の男性であります。道路が狭く歩道もないので、こんなに草が覆いかぶさっている。もし蛇でも出たら歩行者が大変だと。そう言いながら炎天下に刈払機のエンジンをとめて、額の汗を拭いながら話してくれました。

さらに、常陸太田市の中心部と旧町村への連絡道路の状況についてはどうでしょうか。

里美地区へは国道349号が全線整備されており、交通には支障を来さない状況であります。水府地区へは主要地方道常陸太田大子線がほぼ整備をされ、さらに国道461号が整備され、ほとんど交通には支障を来さない状況であると思います。

ところが、金砂郷地区はどうでしょう。特に金砂地区に限っては、主要地方道常陸那珂港山方線が唯一の生活道路であり、唯一の縦貫道路でもあります。市街地や支所、また、医療機械やスーパーなどへの往復には欠かせない路線であるにもかかわらず、この2キロメートルの区間が未整備のため、金砂地区は取り残されて陸の孤島である。

いろいろこれまで道路の現状、そして私に寄せられた生の声を申し上げましたが、今後の計画等についてお伺いをいたします。

次に、同じく主要地方道常陸那珂港山方線の2か所目の下宮河内町地内の三差路地点の整備についてお伺いをいたします。

当該地点は、道路改良工事に支障を来すために既に3世帯が解体・撤去しております。現在は更地の状態であります。3世帯のうち、残念ながら2世帯は那珂市のほうに移転をされましたが、1世帯は同じ町内に新築移転をされております。そうすると、道路改良に支障のある構造物を撤去したのだから、さあ次は工事であろうという声が耳に入ってきております。今後の計画についてお伺いをいたします。

2項目目は、農産物の生産振興についての常陸秋そばの生産振興についてであります。

常陸秋そばの買取り価格の下落に対する市の対応についてお伺いをいたします。

金砂郷地区をはじめ近隣の市町村では、特に戦後においては葉たばこの後作として、多くの農家でそばを生産してきております。

そういう中、常陸秋そばは昭和53年に当時の金砂郷村赤土の在来種から選抜し、淘汰育成されまして、茨城県や茨城県穀物改良協会、それに金砂郷村等々が中心になりまして、昭和60年に茨城県の奨励品種として指定されたものであります。さらに、現在では、常陸太田市の認証特産品となっているのは、ご案内のとおりであります。今は県内各地で作付けをされている状況にあります。

この常陸秋そばは、そば特有の香り、風味、甘みがあって、全国のそば職人から高い評価を受け、特に平成になってからは全国的にも評価は高く、愛好者が増えてきている状況であります。

秋には新そばを使つての常陸秋そばフェスティバル、これが開催され、県内外から多くのそば

愛好者が訪れています。

また、交流センターふじにおいては、そば道段位認定会が毎年開催され、これにも県内外から多くの方が参加をされております。

このような状況の中、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、全国各地においてほとんどのイベントが中止になったり、大口の販売販路が確保できなかつたことなどにより、順調に生産をしてきたそば農家に大きな打撃が襲ってきました。

これは昨年のものでありますけれども、常陸農業協同組合における玄そばの買取り価格であります。1袋正味22.5キロであります。1袋平成30年産が1万1,000円、令和元年産が1万1,000円、令和2年産が1万円と推移をしてきましたけれども、令和3年産は1,000円です。全く耳を疑うような話で、普通ではとても考えられないような価格が常陸農業協同組合から提示をされたものであります。

常陸太田市の特産品である常陸秋そばを守っていかうと取り組んでいる矢先にこのようなことでは、今後の生産意欲がうせてしまったり、耕作放棄地の増大が懸念されております。

一般の農家の中では、そばの種子農家、これは数が限られており、それ以外のほとんどの農家は生産したものを農協に買い取ってもらい、その収入で種子を購入したり肥料代等々を賄っているのが農家と農協の流通体系や信頼関係ではないかと思っております。

農協は組合員に寄り添い、営農指導や組合員の所得の向上のための立場であると私は考えております。

冒頭申し上げましたが、常陸秋そばは茨城県の奨励品種に指定されており、さらに常陸太田市の認証特産品となっているわけでありまして。この玄そばの価格がこのように下落し、これでは種代にもならない。この状況の中における市の対応についてお伺いをいたします。

以上で私の1回目の質問を終わります。

○藤田謙二議長 答弁を求めます。建設部長。

〔高橋学建設部長 登壇〕

○高橋学建設部長 生活環境基盤の整備について、主要地方道常陸那珂港山方線の整備についてお答えいたします。

主要地方道常陸那珂港山方線は、ひたちなか市から常陸大宮市までを結ぶ総延長46.4キロの幹線道路であり、地域の経済や産業の発展を支える重要な路線となっております。

本路線につきましては、本市と那珂市とを結ぶ木島大橋の開通や、本市下利員町地内における新清水橋の架け替え工事、下宮河内町地内におけるバイパスの整備など、茨城県におきまして着実に整備が進められてきているところでございます。

本路線の整備によりまして、災害時には緊急輸送道路や避難路として、また、日常生活や地域社会の経済活動を支える路線として重要な役割を担うこととなりますことから、これまでも本市及び那珂市で構成する県道常陸那珂港山方線整備促進協議会において、茨城県に対し、整備促進に係る要望活動をしてきているところでございます。

ご質問の本路線の今後の計画でございますが、道路管理者であります茨城県によりまして、ま

ず、1点目の中利員町から下利員町までの約2キロの区間につきましては、現道は狹隘屈曲しており、小中学校の通学バスなど車両の擦れ違いにも支障を来す状況にあることから、この2キロメートルの区間を含めた宮の郷工業団地までの区間、合わせて約4キロメートルの区間につきまして、道路計画の調査検討を行っているとのことでございます。

次に、2点目の下宮河内町地内におけます本路線と主要地方道常陸太田那須烏山線との三差路の地点につきましては、全体計画延長約1.9キロメートルのバイパス整備が進められており、令和3年度までの事業進捗率は事業費ベースで6割程度と伺っております。

今年度につきましては、南側の約100メートルの区間におきまして道路改良工事を実施する予定で、令和5年度以降につきましては用地取得を進め、まとまった用地が確保できた部分から工事を進めていくと伺っております。

なお、本路線の整備につきましては、2点目の下宮河内町地内の区間を優先的に進め、この区間の整備の進捗を見ながら、1点目の中利員町から下利員町地内、宮の郷工業団地までの約4キロメートル区間の事業化・具体化を検討する方針と伺っております。

本路線につきましては、地域社会を支える重要な路線でありますことから、引き続き県に対しまして整備促進を要望してまいります。

○藤田謙二議長 農政部長。

〔岡田和也農政部長 登壇〕

○岡田和也農政部長 常陸秋そばの生産振興についての中で、常陸秋そばの買取り価格の下落に対する市の対応についてのご質問にお答えいたします。

本市におきましては、常陸秋そばの発祥の地であります常陸太田市産常陸秋そばの差別化を図るため、高品質なそばの生産振興と販売戦略、PR活動などに取り組み、常陸太田市産常陸秋そばとしてのブランド化を図っているところでございます。

議員ご発言のとおり、令和3年度産の常陸秋そばの買取り価格の下落等につきましては、常陸農業協同組合において令和2年度産の常陸秋そばが豊作であったことから、例年販売をしている数量を上回る量を集荷してきたところでございます。

また、昨年はコロナ禍による飲食店での消費量の減や、常陸秋そばフェスティバル等が中止となり、大口の販路が確保できなかったことなどにより、そばの在庫が過剰となったことで令和3年度産の買取り価格に影響を与えたものと認識をしております。

そば農家等への支援につきましては、現在、県内で支援を行っている自治体は当市のみとなっており、本市独自の支援策といたしまして、これまで、常陸秋そばの生産販売に係る市農地利活用推進費交付金を作付面積に応じ10アール当たり2,500円を交付してまいりました。

また、常陸秋そばの発祥の地として、品質の向上や生産量を確保するため、市常陸秋そば協議会から種子の生産補助や種子更新、刈取り補助等を行ってきたところでございます。

今後の対応といたしましては、令和4年度産の生産の状況と買取りの状況等を見極めながら対策を検討いたしますとともに、引き続き常陸太田市産常陸秋そばの差別化や、高品質化を図るため、常陸秋そばの生産振興対策等を講じてまいります。

○藤田謙二議長 菊池議員。

〔6番 菊池勝美議員 質問者席へ〕

○6番（菊池勝美議員） ご答弁ありがとうございました。

2回目になりますけれども、ご答弁いただいた内容の確認と、それから要望という形にしたいと思えます。

1回目の主要地方道常陸那珂港山方線の整備であります、ご答弁いただきました。

中利員町地内ガソリンスタンドより南へ約2キロ区間においては、この区間も含めた宮の郷工業団地までの区間について道路計画の調査検討をするということでもあります。期間はかかると思えますので、ぜひとも待避所等々の設置を強く要望をいたしたいと思えます。

2番目の下宮河内町の三差路地点の整備でありますけれども、本年度約100メートルの区間において改良工事を実施すると。さらに、用地取得を進め、用地の確保ができた部分から工事を進める。また、中利員町地内のガソリンスタンドより南へ2キロの区間よりも、下宮河内町の区間を優先するという内容については理解をいたしました。

何度も繰り返しますけれども、常陸那珂港山方線、金砂地区においてはたった一本の生活道路でありますので、ぜひとも陸の孤島が1日でも早く解消されますようお願いをいたしたいと思えます。

それから2項目目の常陸秋そばの振興についてであります、そば農家への支援体制であります。

これは現在、県内の自治体では当市のみであるということ。それからまた、市独自の支援策である市農地利活用推進費交付金等の常陸太田市での支援体制については理解をいたしました。

このような状態が続けば、常陸秋そばの発祥の地における常陸秋そばの生産量の減少、先ほど申し上げました耕作放棄地のますますの増加が懸念されるものであります。ぜひとも常陸太田市としての支援の拡充、それから、常陸農業協同組合に対しての強い働きかけをお願いするものであります。

また、常陸秋そばの発祥の地ならではのイベントであります、ずっと以前から行っておりました常陸秋そばオーナー制、これも今年は3年ぶりに復活をいたしました。そしてまた、このそばの郷を絶対に守っていくという郷土愛から生まれた地元赤土町の有志で組織する「常陸秋そばの郷をまもりたい」。これも女子大生を含めて元気にそれぞれの作業を実施したところであります。

さて、皆さん、想像してみてください。もし、皆さん方の今年の収入が昨年の十分の1になってしまったことを。

以上で、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。